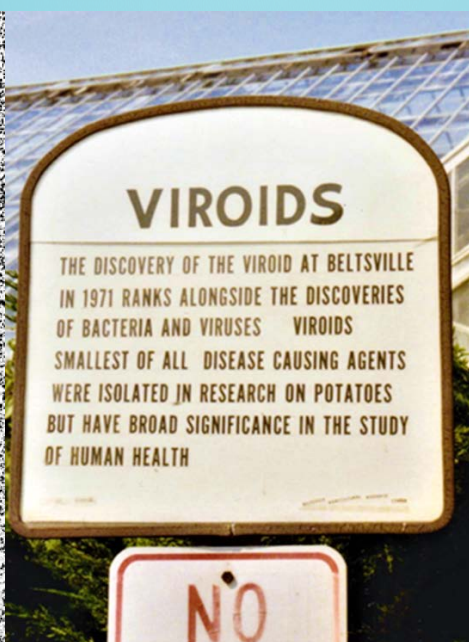
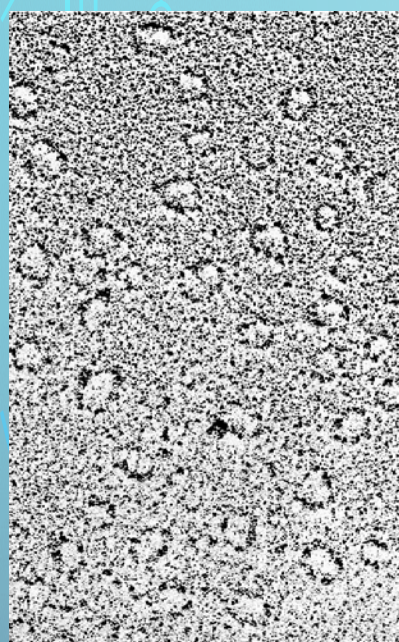


弘前大学資料館 第29回企画展

ウィロイド研究の 黎明期から現在まで

佐野輝男名誉教授 日本学士院賞受賞記念



2022年 **5/30(月) - 6/30(木)**

10:00-16:00 (日曜・祝日休館)

弘前大学名誉教授の佐野輝男先生は、ウィロイド研究の黎明期から現在に至るまで40年にわたり、最小の自律複製病原遺伝子であるウィロイドの生物学的・生態学的研究や診断・防除法の開発など、総合的な研究を展開されてきました。その功績が認められ、日本の学術賞として最も権威ある日本学士院賞を令和2年に受賞されました。本企画展ではその研究の一端について資料などを展示します。

ウイルス研究の 黎明期から現在まで

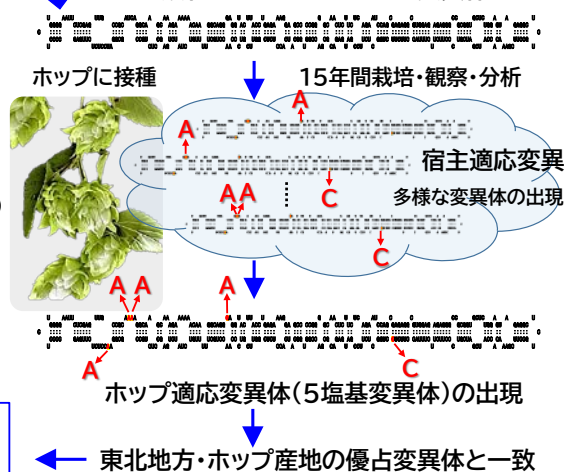
ホップ矮化ウイルスの多様な自然宿主と 主要変異体の宿主適応の解析による矮化病伝染源の特定

ホップ矮化病と
ホップ矮化ウイルスの宿主植物



ブドウに不顕性感染していたウイルスが
ホップに伝染 → 「矮化病」(新病害)発生

ホップ矮化ウイルス - ブドウ変異体



ウイルスは米国で1971年に、やせいも病のジャガイモから発見された新しい重要病原で、世界から30種以上が報告されています。約250～400ヌクレオチドのRNA (リボ核酸) で、タンパク質情報を持ちませんが、宿主植物細胞に侵入すると増殖し病気を起こす病原RNAです。



令和3年6月21日、東京
(上野公園)の日本学士院
で天皇皇后両陛下ご臨席
のもと第110回授賞式が
行われました。

会場 弘前大学資料館

文京キャンパス内 入場無料

主催

弘前大学資料館

農学生命科学部植物病理学教室



お問合せ先: 弘前大学資料館 (0172-39-3432)

